

名古屋大学 宇宙地球環境研究所 附属飛翔体観測推進センター
特任助教(任期付正職員)の公募

1. 公募人数 1名
2. 職務内容 名古屋大学宇宙地球環境研究所では、研究所がこれまで整備してきた地上観測網に加え、特に航空機・気球・観測ロケット・人工衛星などの飛翔体による新機軸の観測計画を策定・実施するとともに、その遂行に必要な技術開発を推進するために、飛翔体観測推進センターを設置しています。
- その中で、航空機観測については、日本学術会議のマスタープラン2020において日本気象学会等が提案した「航空機観測による気候・地球システム科学研究の推進」が重点課題に採択されています。この計画では、観測専用航空機をレンタルし、継続的な観測を10年程度継続することを提案しており、飛翔体観測推進センターを航空機観測の中核として位置づけられています。このことから、飛翔体観測推進センターでは新たに航空機観測推進室を設立することを計画しています。
- そこで本公募では、主に航空機などの飛翔体を用い、地球環境に関連する物理量の観測・解析研究を行う人材を求めます。特に、航空機観測に意欲を持ち、数値モデルを用いた雲・降水・大気成分の研究または気象大気研究部や陸域海洋圏生態系研究部と協力して研究を行う人材を求めます。併せて、これらの研究活動を通して将来の航空機などの飛翔体による観測計画の策定・実施に貢献するとともに、研究集会や講習会などを通して研究者コミュニティに飛翔体観測の重要性や意義を広く普及させ、全国の研究者と協力して当該分野の研究成果創出を先導・推進していく意欲を持った方を求めます。
- 名古屋大学宇宙地球環境研究所 <http://www.isee.nagoya-u.ac.jp/>
3. 身分・待遇 身分： 特任助教(任期付正職員)
勤務形態： 週38.75時間勤務を基本とした裁量労働制適用
給与： 月額約40万円(年俸制)
加入保険等： 文部科学省共済組合(健康保険、厚生年金)、雇用保険、労災保険
4. 雇用期間 2021年7月1日以降できるだけ早い時期～2022年3月31日まで
5. 応募資格 次の条件を全て満たしていること。
1)博士の学位を有しているか、または着任予定時までに取得見込みであること。
2)着任予定時に主たる職、或いは大学院生、研究生等の身分を有しないこと。
6. 選考方法 書類審査により選考しますが、必要に応じて面接を行う場合があります。
7. 応募締切 2021年4月28日(水)必着
8. 提出書類 封筒の表に「飛翔体観測推進センター特任助教(第9号)公募書類在中」と朱書し、以下(1)から(6)ま

での書類を書留で提出してください。（応募書類は原則返却しません。）

(1)履歴書

(2)研究歴(A4で2枚以内)

(3)業績リスト(主要論文3編までのコピー各1部を添付)

(4)研究計画書(A4で4枚以内、研究業務内容に対して、どのように貢献しようと考えているかについても記入すること)

(5)着任可能時期

(6)2名の方からの推薦書、又は本人について意見を述べられる方2名の氏名と連絡先を記入した書面

9. 書類送付先・問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学宇宙地球環境研究所飛翔体観測推進センター

センター長・教授 高橋 暢宏

電話:052-789-3492

10. 備考

上記の公募に関連して提出されたすべての個人情報については、選考の目的に限って利用し、選考終了後は、選考を通過した方の情報を除き、全ての個人情報は責任を持って破棄いたします。

また、当研究所では、男女共同参画推進に積極的に取り組んでいます。

※名古屋大学の取組みについては、次のURLをご覧ください。

<http://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/>